

2025年度決算状況

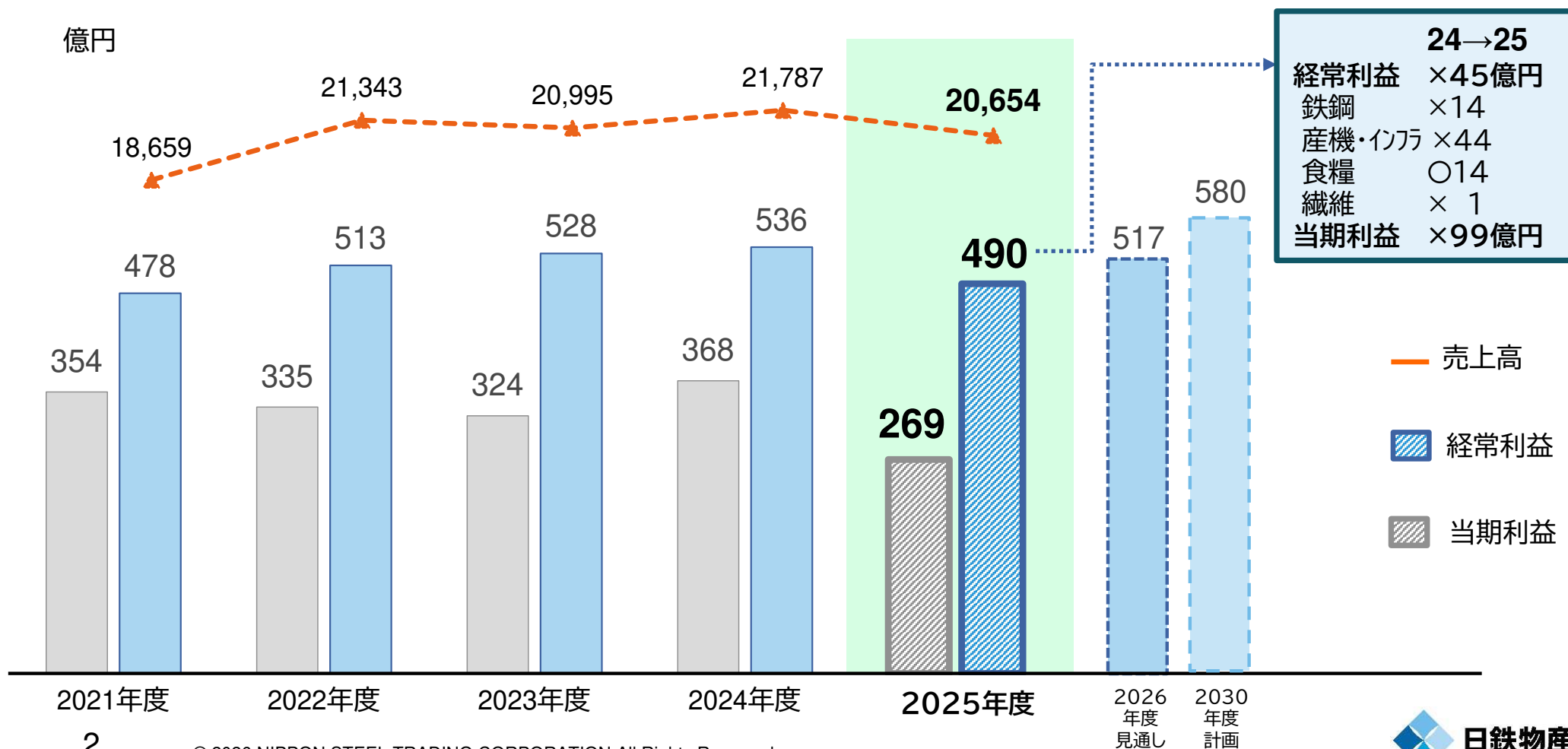
2026年5月



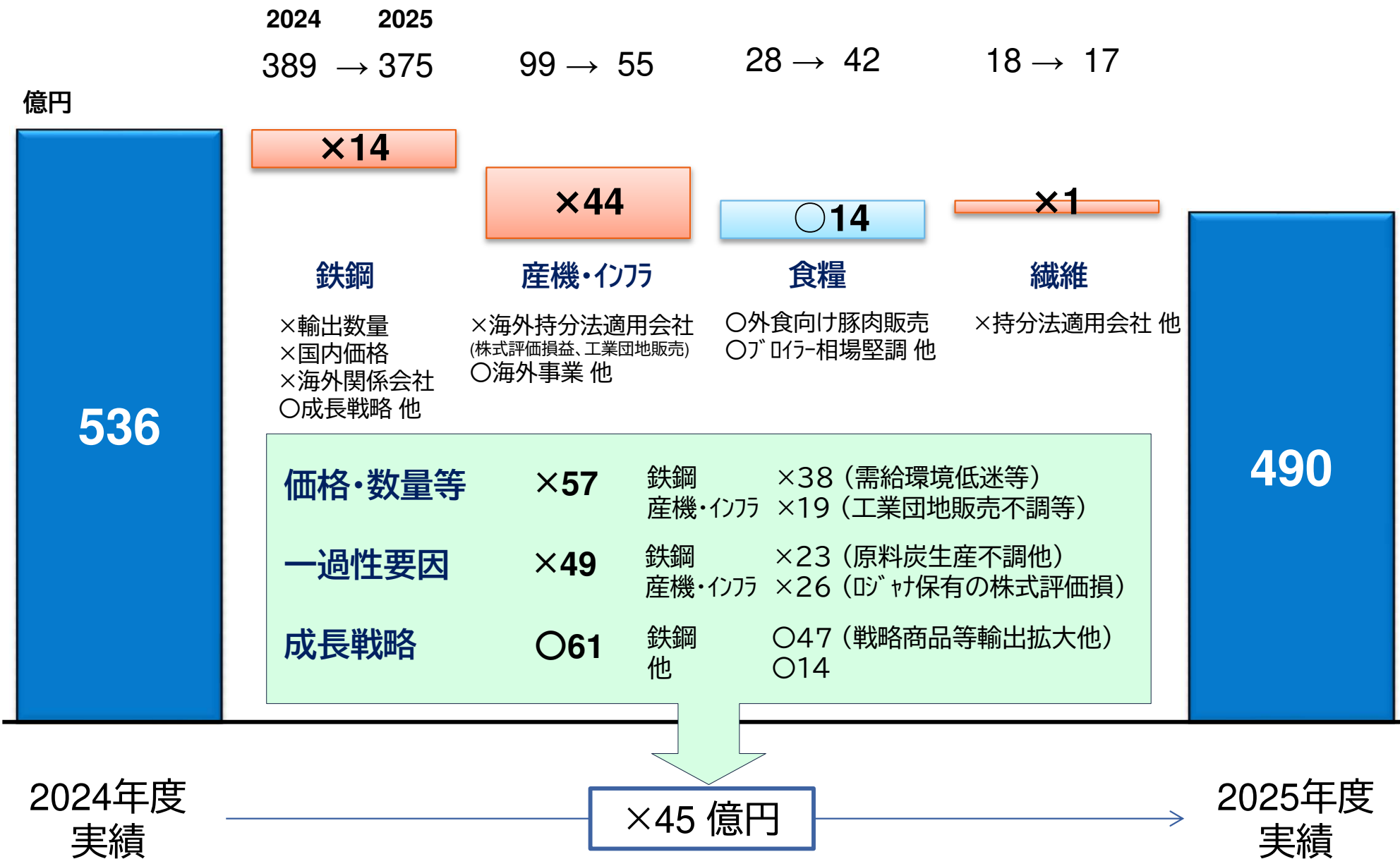
日鉄物産
NIPPON STEEL TRADING

2025年度決算のポイント

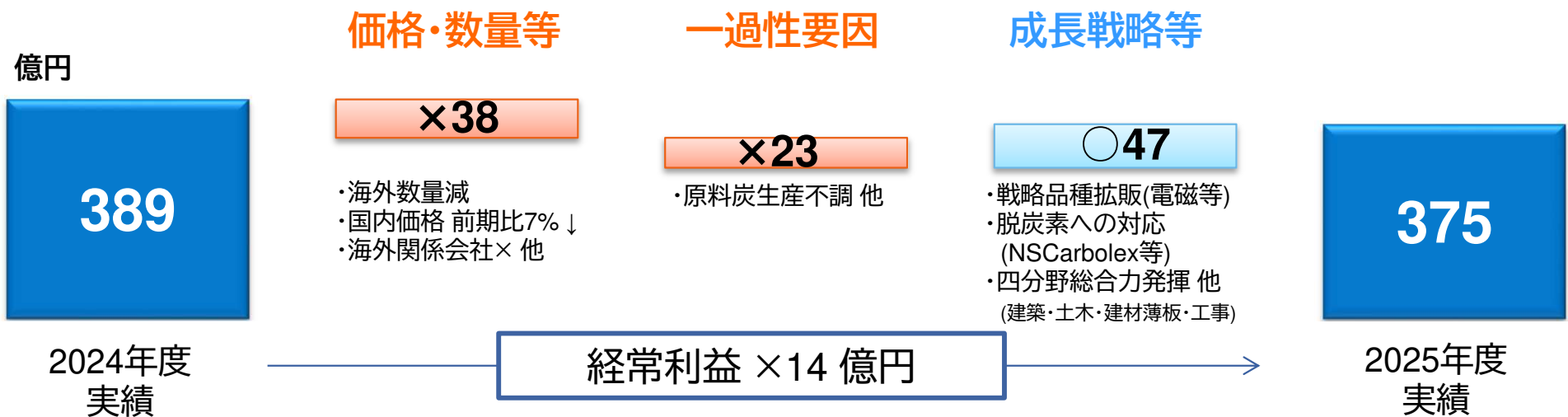
- 1) トランプ関税等の通商問題や、中国の高水準の鋼材輸出継続に起因する国際市況低迷の長期化、国内における構造的な人手不足、資材の高騰等による建築分野の需要減少等により、国内外ともに厳しい事業環境。
- 2) 原料炭事業の不調、産機インフラ事業のロジアナ保有株評価損等の一過性要因の影響等があったものの、成長戦略の継続的な推進や固定費マネジメントの実行により、連結経常利益は上期決算時見通しの490億円を堅持(前年度比×45億円)。
- 3) 当期純利益は、経常減益及び関係会社整理損の計上等により269億円(前年度比×99億円)となった。



経常利益増減要因 (2024年度実績→2025年度実績)



鉄鋼事業經常利益増減 (2024年度実績→2025年度実績)

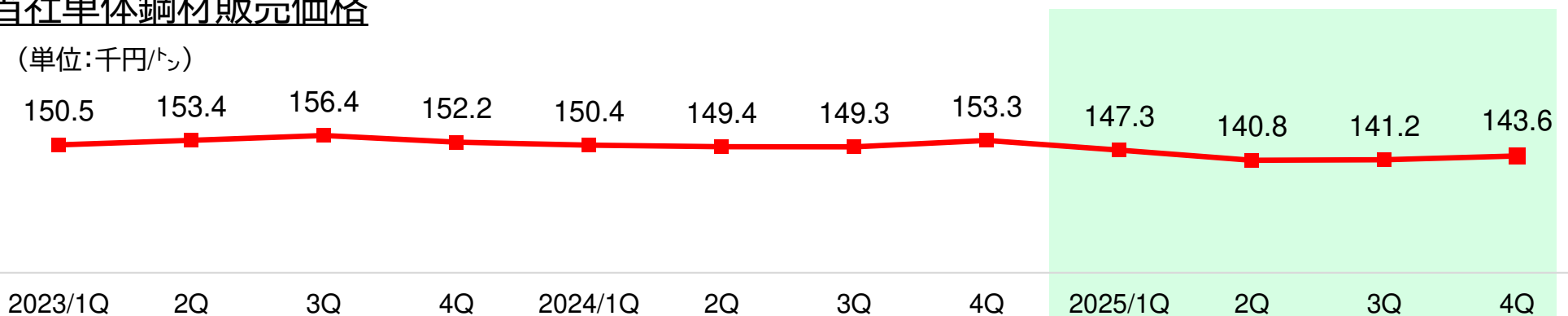


当社連結鋼材取扱量

万ト	2024年度	2025年度	増減
連結計	1,773	1,680	▲93
海外	856	756	▲100
国内	917	924	+7

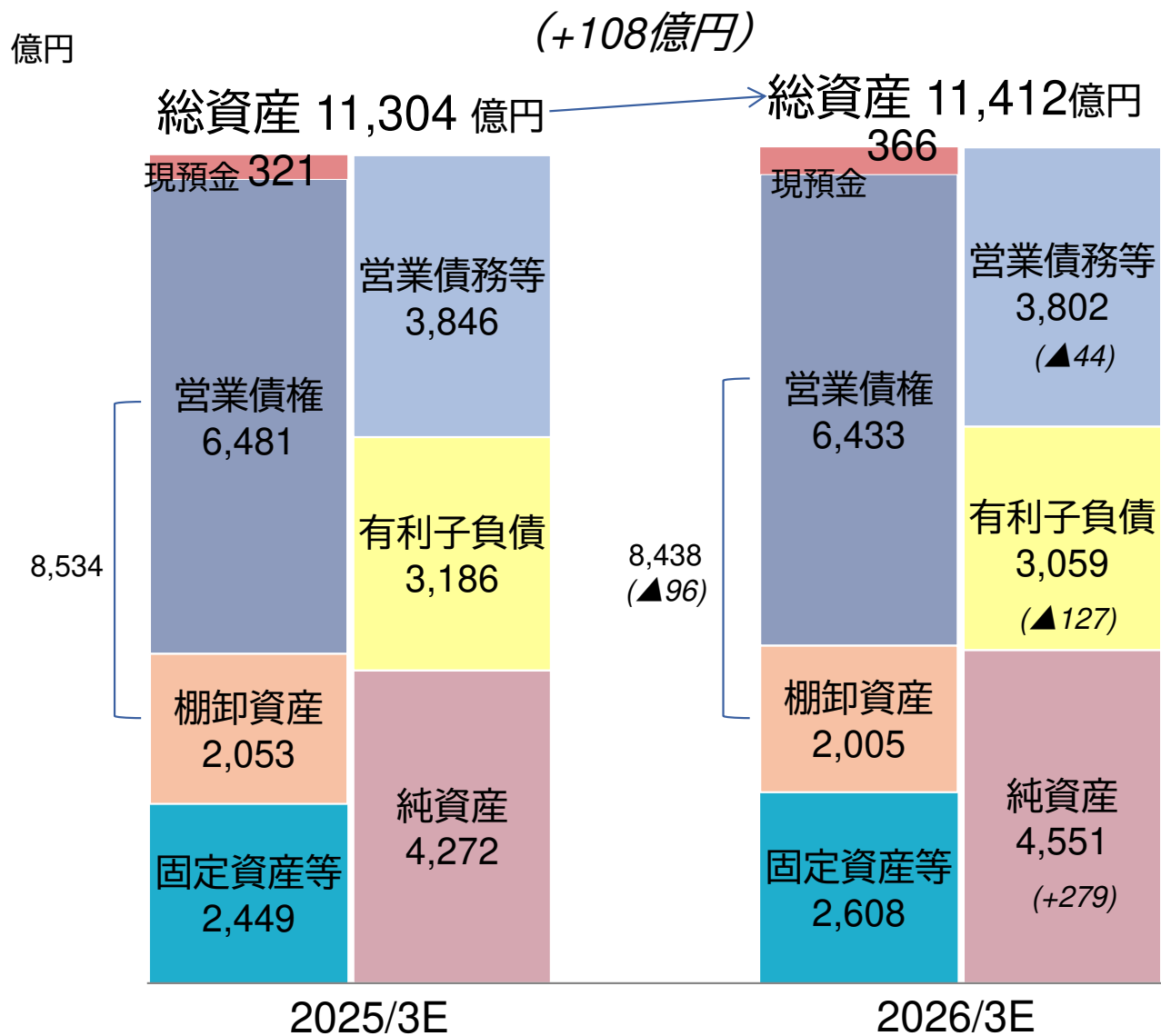
当社単体鋼材販売価格

(単位:千円/ト)



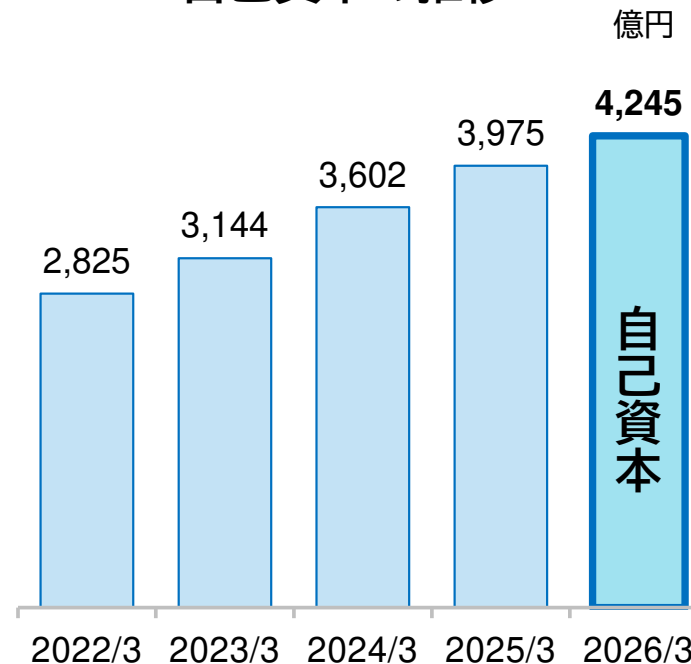
財務状況

- 財務体質は、自己資本比率、Net D/Eともに改善



	2025/3E	2026/3E	対比
自己資本比率	35.2%	37.2%	○2.0%
Net D/E	0.72倍	0.63倍	○0.09倍

自己資本の推移



()は対前期末増減

1. マレーシアにおける建材製品製造大手LEFORM社への出資 (2026.3.10、4.27公表)

- 当社マレーシア現法(NST TRADING MALAYSIA SDN. BHD.)は、マレーシアで鋼管やガードレールなどの建材製品の製造および販売を行うLEFORM BERHAD社(LEFORM社)へ出資。LEFORM社との戦略的な協業を通じて、マレーシア国内における地産地消ビジネスの拡大を図るとともに、同地域の建材製品マーケットにおけるインフラ関連の鋼材需要のさらなる捕捉を推進し、マレーシアのみならず、ASEAN地域における事業基盤強化を進めていく。



MOU締結に伴う調印式にて
LEFORM社 Law Kok Thye社長(左)と当社 中村真一社長(右)

2. 航空・宇宙品質マネジメントシステム規格「AS9120B」の認証を取得 (2026.4.3公表)

- AS9120Bは、品質マネジメントシステムに関する国際規格「ISO 9001」に、航空・宇宙産業特有の要求事項を追加した規格であり、商社など流通部門を対象に、サプライチェーンにおける製品の品質保証とトレーサビリティの徹底を求めるもの。今回、当社のステンレス・チタン・特殊鋼営業部及び鉄鋼貿易物流部が連携し認証を取得。引き続き品質管理体制を強化し、国内外のパートナーと共に、航空・宇宙産業の持続的な発展への貢献を目指す。



ステンレス・チタン・特殊鋼営業部担当の秋本執行役員(左)
鉄鋼貿易物流部担当の恵執行役員(右)

3. 豪州クィーンズランド州に現地企業と合併でバイオ燃料原料の生産会社を設立(2026.3.10公表)

- 当社は、豪州クィーンズランド州エメラルドにて、ポンガミアの栽培知見を有するEnergreen Nutrition Australia Pty. Ltd.との合併会社Green Biotechnology Solutions Pty. Ltd. (GBS) を設立し、現地にて非可食用油糧樹「ポンガミア」の商業植林を開始。GBS事業を通じてバイオ燃料の原料生産・安定供給体制を構築し、持続可能なバイオ燃料・資源事業を推進していく。



起工式にて 右から3人目が当社田代常務執行役員

日鉄物産株式会社企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。



日鉄物産

NIPPON STEEL TRADING